

第6回乙川リバーフロント部会議事録

日時 2014年2月12日(水) 14:00~15:00

会場 岡崎市役所東庁舎2階大会議室

1. 開会

2. 部会長あいさつ

昨年5月から当部会、懇談会で議論してきたことを、皆さんのおかげで提言書という形にまとめることができた。本日岡崎市へ提出となるが、終わりではなくスタートラインに立ったということ。建物は完成するだけでなく、その後が大切。私が仕事で申し上げるのは、建物は器であり、使い手の方に魂を入れてほしいとお願いしている。今日もそんな意識を持って有意義な部会としたい。

3. 議事

(1) 提言書の最終確認

事務局長

「乙川リバーフロント地区整備 基本方針策定のための提言書」(別添)について、イメージ図を交えながら説明。

(2) 今年度の活動総括

部会員 A

提言書、現実的かつ網羅的なものとなった。より良いものへの「土台」。これを基にどういふ議論と活動を行うかが大事な段階に入る。

景観、都市デザイン：岡崎らしさ、魅力を考える上でデザインを意識したい。

先のアイデアコンクールにもソフト的な提案あった。橋のデザインについてコンペに固執することはない。ワークショップ等があると良い。

部会員 B

リバーフロントは岡崎の目玉になる。皆さんと力を合わせて頑張りたい。

部会員 C

提言書、非常に丁寧で作られている。きちんと活用してほしい。アイデアコンクール応募 2,475 作品には驚いた。全部それぞれの立場で考えて一生懸命提案してくれている。大事にしていきたい。

部会員 D

リバーフロントは人が訪れ、集まる場所として岡崎市民のリビングになる。橋だけ取っても細かいところまで考え市民のリビングにしていきたい。

アドバイザーA

公としては発言しにくい部分もあったが、東岡崎からの誘客につなげたい。

アドバイザーB

提言書の内容を一つ一つ実現し、また今後は協議会の設置と当部会で夢のある岡崎に向けてスタートしたい。

部会長

(配布した書面「提言を終えて」を基に) 今後、具体的な提案が必要。ソウル「清溪川」は3年であの形になった。クリチバなど他の事例にも改めて学ぶことは多い。市民参加のもと「市民が誇りうる岡崎」にしたい。

事務局長

2014年度、乙川での実証実験として貸ボート事業が展開される。他にも提案し、取り組んでいきたい。その都度ご意見をいただきたい。

アドバイザーC

提言書の提出に御礼申し上げる。市長の公約が具体的になったわけで、行政としてはしっかりと受け止めていきたい。

傍聴

現実的な提言。中心市街地に限らず岡崎市全体の事業。スピード感を持って取り組んでほしい。課題はあるが役所の事情で進まないことがないように、議員としての政策提言に結び付けたい。

部会長

中心市街地という概念を外そうという意見有(=差別)。しかし「シンボル」は必要。全市民のコンセンサス得られる。川は山から考える視野の広さが必要。

(3) その他

事務局長から、この後市長への提言提出と今後も部会の継続を発表。

4. 閉会